



## Change! 2022 ニュース

No. 27

Change! 2022 推進委員会 2021. 9. 15 発行

### ▼ 会員増強に思う

#### 「アジア太平洋地域の会員増強に学ぶ」

IBC国際事業主任・直前アジア太平洋地域書記

利根川 恵子 (川越)



2018年7月から2021年6月までの3年間、田中博之元会長、David Lua 直前会長の下で、アジア太平洋地域書記を仰せつかり、アジア太平洋地域の状況をつぶさに見て参りました。

会員増強についてアジア太平洋地域を見てもみると、オーストラリア、東西日本区、フィリピン、南東アジア、スリランカ、台湾の7区の中で、南東アジア区の会員増強(特に国境を越えたエクステンション)の実績は目を見張るものがありました。3年間でチャーターされたクラブは以下のとおりです。(※は初めてワイズメンズクラブが誕生した国)

2018-19年度 ▼プノンペン (カンボジア) \*

2019-20年度 ▼カトマンズ・バレー (ネパール) \*

▼ルンビニ (ネパール)

▼カラチ (パキスタン) \*

2020-21年度 ▼ジョホール・イーグル (マレーシア)

▼ニューテリトリー・イースト (香港)

▼タウイン・ミャンマー (ミャンマー)

▼マンダレー (ミャンマー)

▼ロイカウ (ミャンマー)

▼ミッチーナ (ミャンマー)

南東アジア区の2020-21年度の会員増強は素晴らしく、新クラブが5クラブ、新メンバーが129名、30%の増加となっています。この他にも、ネパールでユース・クラブが3クラブ、チャーターされました。

なぜこのように活力があり、会員増強が図られるのか。その主な理由としては以下のことが考えられます。

1. 香港、シンガポールという東南アジアのビジネスの

ハブがあるため、国際的なビジネスに従事しているキー・メンバーがいて、彼らが容易に訪問し、新クラブ設立のイニシアチブを取ることができた。

プノンペン、ジョホール・イーグル、ルンビニはこのケースである。

2. YMCA が積極的にワイズメンズクラブの設立を支援し、Y's Liaison (ワイズリエゾン=山田公平ワイズ)もかかわり、力を発揮した。ミャンマーの4クラブが典型的な例となった。カラチも教会の牧師が中心となって設立したクラブ。
3. スポンサー・クラブがしっかりしていて、立ち上がりのサポートが確実に行われた。新メンバーのオリエンテーション、国際や地域からの補助金の獲得、必要に応じて初年度の経済的支援等、新クラブの設立から一人歩きするまでを支援する覚悟がある。
4. ほとんどが発展途上国であり、ワイズのコミュニティ・サービスのインパクトがあり、しかも可視化されている。

以上のことを念頭に、東日本区を考えると、すぐに当てはまることばかりではありませんが、参考にできることもあります。

例えば、「キー・パーソン」です。スポンサー・クラブと新クラブの双方に「キー・パーソン」が必要です。これは当然のことで、今までの東日本区の新クラブ設立にも必ず、キー・パーソンがいました。

また YMCA との協働も見逃せません。我々は YMCA を支援することを使命のひとつとしており、YMCA とのパートナーシップも常々いわれていることです。YMCA の協力を糸口とすることを、もっと積極的にできればと思います。東西両区を包括して活動している「YMCA・ワイズ・パートナーシップ委員会」もこのために存在しています。

この3年間、アジア太平洋地域の力強い歩みを直に肌で感じてきました。コロナ禍や政情不安でクラブ活動も思うようにできない状況ですが、各国のワイズメンズクラブは、それぞれに工夫して、必要とされるコミュニテ

イ・サービスを今まで以上に行っています。

このような危機的な時だからこそ、ワイズ運動の神髄が試される時であり、仲間を増やすチャンスでもあると信じています。同じワイズの仲間が、東日本区のみならず、アジア太平洋地域、ひいては世界 73 カ国でより良い世界をつくるために日々活動していると思うと、自分にも力が湧いてきます。アジア太平洋地域の息吹をご紹介することによって、少しでもみなさまのエネルギーになれば幸いです。

文化人類学者のマーガレット・ミードの名言の中に、「We are at our best when we serve others.」（私たちは人に奉仕するときに最高の自分となる。）ということばがあります。最高の自分になれる機会をワイズメンズクラブは与えてくれます。自信をもって新メンバーの獲得に動きたいと思います。

### 《 利根川 恵子さんのプロフィール 》

1950年6月	埼玉県生まれ
1998年10月	川越クラブ チャーターメンバー
2002 - 2004年	クラブ会長 (2008-2010年 会長)
2013 - 2014年	関東東部部長
2014 - 2015年	東日本区国際・交流事業主任
2016 - 2017年	東日本区理事
2017 - 2022年	YMI ワールド翻訳グループ委員
2018 - 2021年	アジア太平洋地域書記
2019 - 2022年	国際 IBC 事業主任
さいたま市教育委員会 ALT コーディネーター	

### ▼ 各部 会員増強事業主査より

#### 「 TOOL の活用 」

富士山部主査 榎本 博 (伊東)



会員増強が必要な事・・・皆、分かっているはずですね。それに対して積極的に行動するか、しないかの違いだけ。今まではそれで良かったのかもしれませんが。コロナ渦で、例会ははじめクラブ活動などに制限がある今、メンバー自身のモチベーションは下がり、退会なんて事もあり得るでしょう。

そんな事が見受けられるから、早期に対策を講じないとならないから、東日本区会員増強事業委員会から「Change! 2022 推進委員会」が発足され、アクションプ

ランの作成や、スマホ版 Web サイト(動画でわかるワイズメンズクラブ)が出来あがった訳です。こんな時だからこそ、これらを使わない手はありません！

富士山部は、部としての会員増強事業こそありませんが、私の知っている限りでは、会員増強事業主任が現在までに 7 名も輩出されてきました。部としても、部所属のクラブとしても、魅力的な事業・活動が活発に実施され、外部からの評価も多大です。やりがいも、達成感も、楽しさだってあります。「こんなに条件が良い部が他にいいのか？」と思えるのは私だけではないと思います。揃っている物を会員増強のツールとして M・C (Membership・Conservation) に努めていけば、会員増強に必ずつながるはず。会員増強の意識向上を強制することは難しいですが、矯正することは出来るはず。です。

今期は富士山部より、大川貴久 Y's が東日本区会員増強事業主任として、栗本治郎 Y's が Change! 2022 推進委員会委員長として活動されていますので、お二方の指導の下、会員増強へのヒントやアイデアを提供し、富士山部・ワイズメンズクラブの発展に努めていきたいと思っています。

### ▼ クラブ例会での EMC 推進

#### 「 東京グリーンクラブ例会での EMC 」

クラブ書記 布上 征一郎 (東京グリーン)



2021 年 8 月例会のメインテーマは『EMC の推進』としたので、例会のプログラムから EMC 関連の発言を抜粋して記します。

大澤和子部長よりご挨拶、今期の部長方針を力強くしっかりと述べられ、その中で EMC 活動は、部、クラブが一体となって推進を図ることが重要。入会ツール(ハード、ソフト)を整え、各会長が広報マンとなる覚悟を持って、あらゆる機会を見逃さず、クラブ行事参加の呼びかけを行い、ワイズの姿を見てもらうように努めてほしい。ハンドロップ対策として新入会員を対象に早く、広くワイズを理解してもらうために部大会、区大会等への参加を促す。また、新クラブ設立を目指し、部として新たに候補地を選定し、設立努力を継続してゆくことが必要。

金丸満雄会員増強事業主査からは、Change! 2022 推進委員会が開催する「Y's Night Forum」のアピ

ールと積極参加の依頼。前期に行われた『関東東部 EMC を考える集い』は今期もさらに内容を充実させて行いたい。また、今期の提案として「各クラブでせめて1名の会員獲得を！」と申し上げたい。そして区で推進している、SNS などワイズの活動をアピールして会員増強を図る活動には大いに協力したい。部の評議会、部大会、区大会等への担当主事の参加はワイズの理解に重要な事。【写真下=8月Zoom例会の様子】



さらに、新クラブ設立の件では「牛久クラブ」の問題があるが、あくまでも茨城クラブの全面的な協力のもと、推進すべきと考えている。進展を期待している。

当クラブの CS 事業である『神田川船の会』は、2019年5月以来、2年以上催行されていない。このためコロナ禍の中で灯を絶やさないための実務的な運営課題と、EMC 推進のテーマとが渾然一体の意見交換がなされ、船の会の今後の活動に関して具体的な検討課題が確認された。

東京ひがしクラブの CS 事業である『ピースウォーク』とのコラボにより、両イベントのシナジー効果、活性化を図ることも検討課題である。大澤部長、金丸主査共に、『神田川船の会』を関東東部各クラブの応援、参加を募ってワイズの PR、さらには EMC 活性化のプラスに出来るようにしたいと話された。

### ▼ エリア会長月刊通信 9月号より

#### 「100日間会員増強キャンペーン」

アジア太平洋地域会長 大野 勉 (神戸ポート)



昨年度に引き続き、「チャレンジ22」の一環として、9月1日から12月9日までを『100日間会員増強キャンペーン』としています。キャンペーン目標は、2021年2月の会員数の25%増強です。各賞が用意されています。

なお、開始日の9月1日には国際会長によるキャンペーン推進を目的とした会議が開かれました。東・西日

本区からも多くのワイズメンが参加しました。



【100日間会員増強キャンペーン 9/1~12/9】

### ▼ 第2回 拡大EMC委員会 報告

会員増強事業主任 大川 貴久 (熱海)



日時：2021年8月30日(水)

19:00~20:30

場所:Zoom会議 出席者:30名  
 ≪EMC事業委員会=委員長、委員、部長、会員増強事業主査、エクステンション委員長(EXT)≫  
 16名

大川貴久委員長、伊藤幾夫委員、北海道部:中村義春部長、北東部:南澤一右部長、粕田晴之主査、関東東部:大澤和子部長、金丸満雄主査・EXT、東新部:太田勝人 EXT、あずさ部:長谷川あや子部長、標克明主査、菰渕光彦 EXT、湘南・沖縄部:若木一美部長、辻剛 EXT、富士山部:小原進一部長、榎本博主査、久保田康正 EXT

≪Change! 2022 推進委員会≫ 11名

石田孝次、伊丹一之、板村哲也、栗本治郎、佐藤重良、中村孝誠、深尾香子、藤井寛敏、札埜慶一、宮内友弥、渡辺大輔

≪オブザーバー≫ 3名

大久保知宏(区理事)、衣笠輝夫(区書記)、小林隆(事務所長)

#### 【次第】

挨拶：大久保理事の挨拶

#### 議事① 活動報告書の件

・7月の活動報告書の集計。北海道部1クラブ、北東部0、関東東部6クラブ、東新部0、あずさ部8クラブ、湘南沖縄部0、富士山部4クラブでした。

出来れば報告が無くても出して貰いたい。

- ・緊急事態宣言が発令されている中、Zoom やハイブリッドの例会にも限界があり、メンバー同士の繋がりも希薄になってしまう。打開策も見いだせないと言う問題点が報告書に上がってきました。→この件に関しましては、あずさ部のクラブから出てきていますので、詳しい状況をあずさ部の長谷川部長に聞いてもらう。

### 議事② ワイズ・ナイトフォーラムの件

- ・ Change! 2022 推進委員会の栗本委員長より説明  
第1回は 9月19日(日)20時より開催  
第2回は 10月24日(日)20時より開催  
第3回は 11月14日(日)20時より開催  
プログラム内容などを詳細説明。
- ・申し込みが無くても当日参加、大丈夫です。
- ・大勢の参加者が欲しいので是非、各部より10名以上の参加をお願いいたします。

### 議事③ 各部部长からの現状報告

- ・北海道部は中村部長からの報告で、ほとんどのクラブがリアル例会を開催、Zoom やハイブリッドは難しい。
- ・北東部は南澤部長からの報告で、部大会は中止方向に動いている。
- ・関東東部の大澤部長は、クラブ訪問は半分行きました。ほとんどのクラブがオンラインで例会を開催出来るようになりましたが1クラブだけがPCを操れる人がいない状況です。10月2日(土)13時30分よりZoomにて部大会を開催します。
- ・東新部、太田 EXT 委員長からの現状報告。東京町田コスモス、東京町田スマイリング、東京多摩みなみは、2ヶ月ごとに3クラブ合同例会を開催している。部大会は9月11日(土)13時30分よりZoomで開催します。
- ・あずさ部の長谷川部長からの報告。7月8月で3名の入会者がありました。例会は会場が閉鎖にならなければリアル例会を開催しているクラブもありますし、全てZoomで開催しているクラブもある。両方とも出席率はいいです。コロナの都合上全てのクラブを回れない。部大会はZoomだけの大会にしました。
- ・湘南・沖縄部は若木部長からの報告。各クラブ工夫を凝らして例会をZoom や広い会場を借りてリアル例会を開催しています。ワイズとYMCAの協議会(年4回)を開催しています。部大会は10月23日(土)に開催、9月の初めにはチラシを配布予定。
- ・富士山部は久保田 EXT 委員長からの報告。エクステンションの方は進んでいません。例会の開催方法

はクラブ内で決めた方法で開催すればいいのではないかと思います。

閉会の挨拶:佐藤次期理事の挨拶

次回開催日は、9月29日(水)19時開催

### ▼ 新入会員をご紹介します

#### 会員増強事業主任 大川 貴久 (熱海)

7月には、下記の方が入会されましたので追記します。

No.	新入会者	(クラブ名)	紹介者
11.	松本 数実	(東京)	元担当主事
12.	田村 誠明	(石巻広域)	日野 峻
13.	平井 順子	(石巻広域)	清水 弘一
14.	平山 雄大	(那須)	担当主事

8月には、下記の方が入会されました。

No.	新入会者	(クラブ名)	紹介者
1.	加藤 祐一	(東京町田コスモス)	元東京目黒クラブ
2.	伏見 和之	(甲府21)	宮岡 宏実
3.	土屋 龍一郎	(長野)	堀内/小林/森本
4.	水沼 昭子	(千葉ウエスト)	高田 一彦

(以上敬称略)

#### 《入会候補者向けにワイズの魅力を紹介する》

### ワイズ・ナイトフォーラム

第1回 9月19日(日) 20:00~22:00 Zoom開催

卓話者: 藤田 智さん(東京多摩みなみクラブ)

恵泉女学園大学教授

NHK趣味の園芸「野菜の時間」他に出演

パネルディスカッション: 佐竹 誠さん他

「カンボジアに園児服を送る活動」

下記は参加アドレス。右上は参加申し込みQRコード。

<https://us06web.zoom.us/j/86832303212?pwd=d3NVQkNYM0NlK0ZEaXRONEFuaVVvUT09>

第2回 10月24日(日) 20:00~22:00 Zoom開催

卓話者: 利根川 恵子さん(川越クラブ・元理事)

「TOKYO 2020 オリンピックにボランティアとして参加して」

パネルディスカッション: チミケップキャンプ場の活動

第3回 11月21日(日) 20:00~22:00 Zoom開催

卓話者: 西村 隆夫さん(チェンマイクラブ、元国際書記長)

「国際書記長としてのタイでの生活とオリンピックボランティアの経験」

パネルディスカッション: ワイズ青少年事業活動の魅力

